

**パプアニューギニア国
ウェワク漁業公設市場・棧橋整備計画
予備調査報告書**

平成19年7月
(2007年)

**独立行政法人 国際協力機構
無償資金協力部**

無償

J R

07-142

序文

日本国政府は、パプアニューギニア国政府の要請に基づき、同国のウェワク漁業公設市場・棧橋整備計画にかかる予備調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構が、この調査を実施しました。

当機構は、平成19年4月29日から6月2日まで予備調査団を現地に派遣しました。

この報告書が、今後予定される基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成19年7月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部
部長 中川 和夫

目 次

序文

パプアニューギニア国位置図

パプアニューギニア国全図

計画サイト位置図

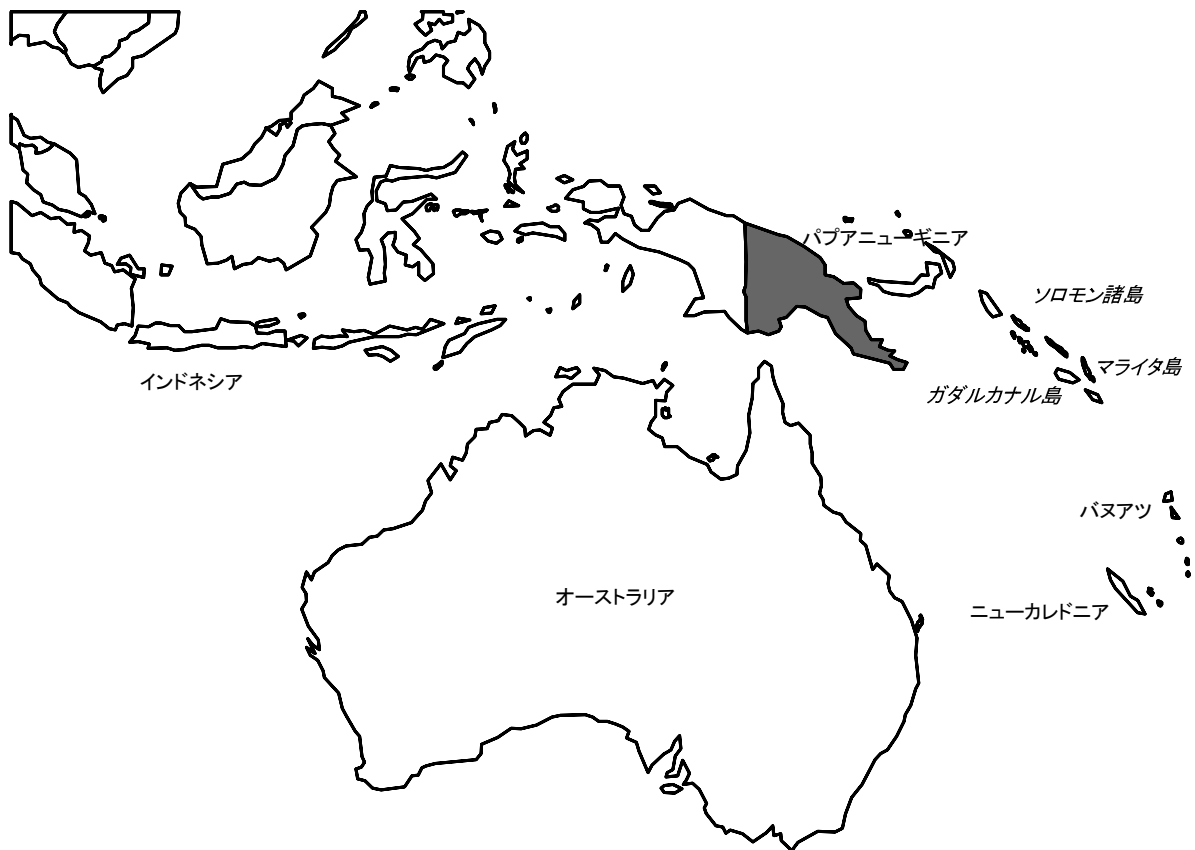
略 語 表

写 真

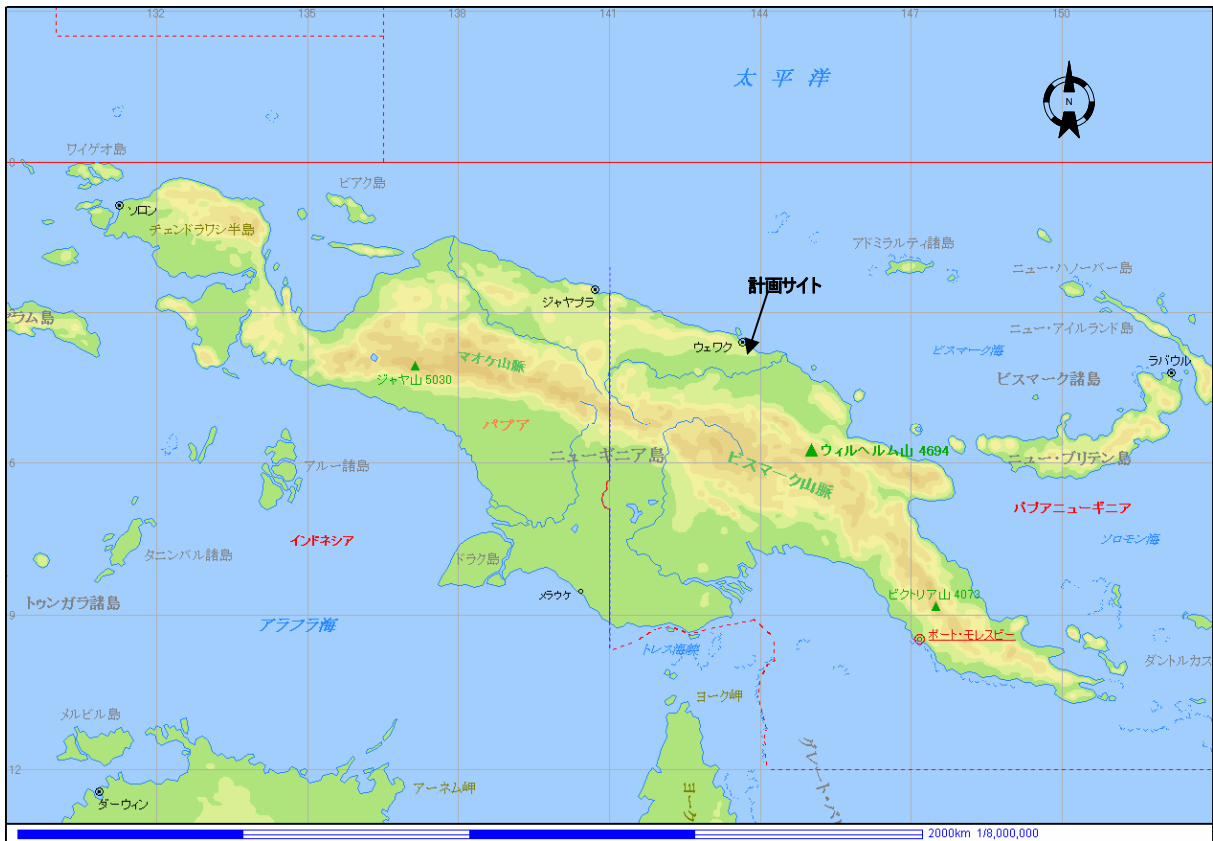
第1章 調査概要	1
1. 要請内容	1
(1) 我が国への要請内容	1
(2) 相手国側投入計画	1
2. 調査目的	1
3. 調査団の構成	2
4. 調査日程	3
5. 主要面談者	4
6. 調査結果概要	4
(1) 先方との協議結果	4
(2) 現地調査結果	5
(3) 結論要約	8
第2章 要請の確認	10
1. 要請の経緯・背景	10
(1) 国家開発計画等上位計画における位置付け	10
(2) 関連セクター開発計画等における位置付け	10
(3) 農業・水産業の概要及び流通の現状	10
(4) 関連施設の現状	19
2. 計画対象施設の現状と問題点	22
(1) ウェワク市場の現状	22
(2) 栈橋の現状	26
3. 要請内容の妥当性の検討	30
(1) 実施機関および運営組織	30
(2) 運営維持管理	32
(3) 要請内容の確認	33
(4) 協力実施の必要性、妥当性	34
(5) 建設予定地の妥当性	35
第3章 環境社会配慮	37
1. 環境社会配慮調査必要性の有無	37
(1) 環境保全に係る行政機関	37
(2) 環境許認可制度	37
(3) 環境影響評価実施に係る手続き	40
(4) JICA 環境社会配慮 IEE やカテゴリー分類との整合性	42
(5) 本案件の EIA 手続きの状況	42
2. 環境社会配慮に係る諸条件	43
(1) プロジェクトの立地環境	43
(2) プロジェクト実施に関わる主な環境社会面の現況	51
3. IEE レベルの環境社会配慮調査の結果	55
(1) スコーピングの結果	55

(2) 対処策と緩和策	58
(3) 代替案の検討	59
(4) ステークホルダー会議	60
第4章 結論・提言	65
1. 基本設計調査に際し留意すべき事項等	65
(1) 基本設計調査の目的	65
(2) 調査の基本方針（案）	65
(3) 調査実施に際し留意すべき事項	66
添付資料	A-1
1. 協議議事録	A-2
2. 要請計画サイト土地利用に係る書類	A-10
3. 計画サイト公図	A-16
4. 電気料金表	A-18
5. 水道料金表	A-19
6. 面談者リスト	A-20
7. 収集資料リスト	A-22
8. 既存ウェアク市場の出店数	A-24
9. 市場計画規模の試算	A-24
10. バナナボートの荷役時間	A-26
11. パプアニューギニア国の現状	A-26
(1) 一般・自然状況	A-26
(2) 社会・経済状況	A-28
(3) 援助状況・動向	A-28
(4) 建設事情	A-30
12. 基本設計調査内容（詳細）	A-34
(1) 市場	A-34
(2) 栈橋	A-35
(3) 製氷施設	A-35
(4) 資機材調達事情	A-35
(5) 自然条件調査	A-34
(6) 環境社会配慮	A-38
13. 協議・面談議事録	A-40

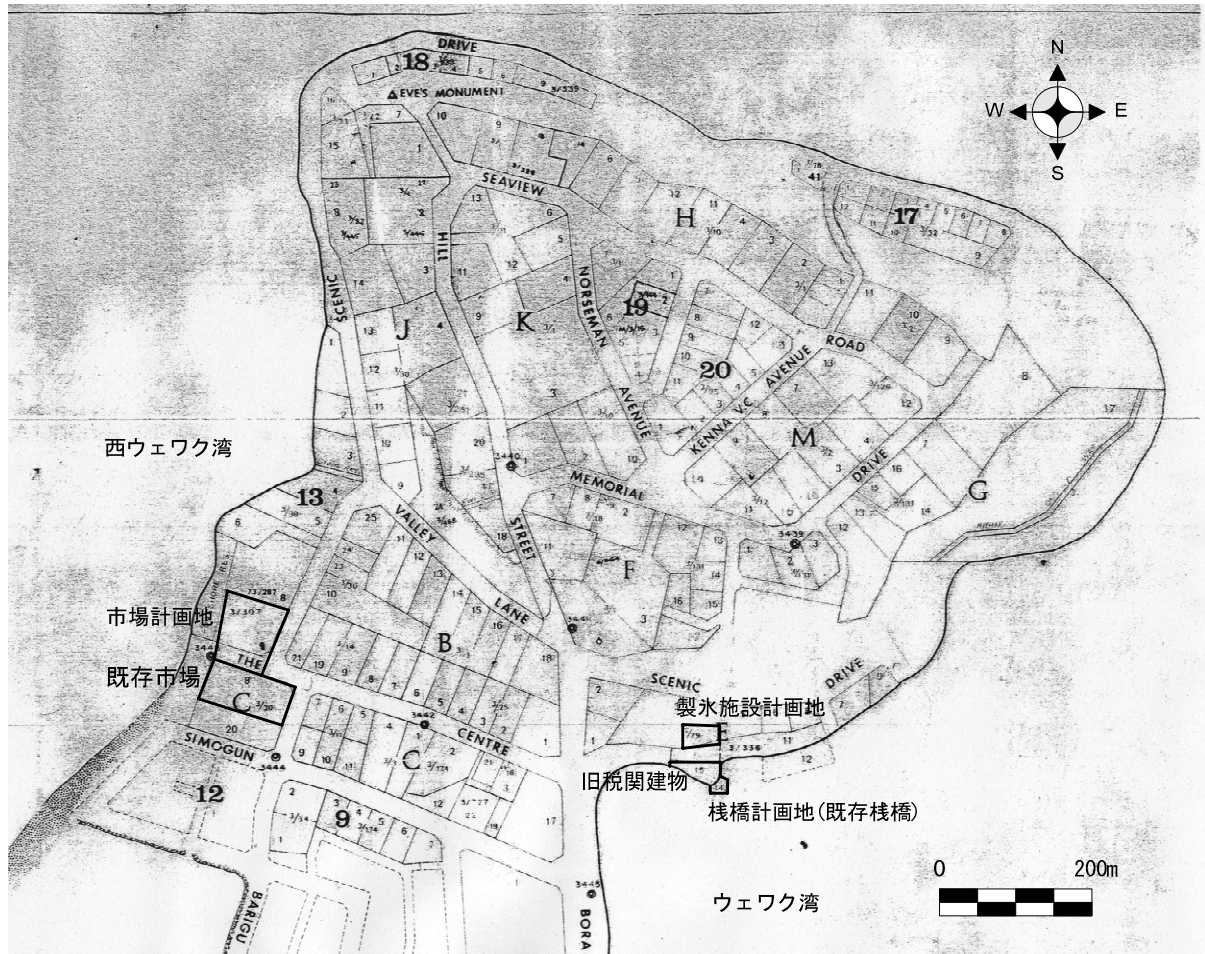
パプアニューギニア国位置図



パプアニューギニア国全図



計画サイト位置図



略語表

AusAid	Australian Agency for International Development オーストラリア国際開発庁
ADB	Asian Development Bank アジア開発銀行
EEZ	Exclusive Economic Zone 排他的経済水域
EIA	Environmental Impact Assessment 環境影響評価
EU	European Union 欧州共同体
FAO	Food and Agriculture Organization 国連食糧農業機関
GDP	Gross Domestic Product 国内総生産
GTZ	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit ドイツ技術協力公社
IEE	Initial Environmental Examination 初期環境調査
JICA	Japan International Cooperation Agency 国際協力機構
LLG	Local Level Government 地方行政府
LLW	Low Water Level 干潮位
NPO	Non-Profit Organization 非営利組織・団体

写真1



市場計画サイト全景（現状はバス・ターミナルおよび駐車場）



同上（進入道路側から撮影）

同上（海側から撮影）



写真2



ウェワク既存棧橋（中央部が破損した棧橋、中央および左側に座礁船、右側は上架用クレードルとレール）



上空より見た既存棧橋（棧橋計画サイト）

写真3



平日のウェワク市場



同位置から見た休場日のウェワク市場



降雨によって出来た市場内の水溜まり



ドーリー（奥側）とバナナボート（手前側）



ムシュ島沿岸でのカヌー漁



クリア近郊の漁村での水産物小売風景

写真4



既存市場棟（右手が海岸）
高潮時には壁で囲まれた部分（キオスク：軽食・飲み物販売所）の中ほどまで浸水する



既存市場の海岸の浸食（奥は市場棟）
椰子の根元まで潜掘されている。



クリア・コンパウンド市場
建物周囲に排水溝が掘ってある



エアストリップ市場
屋根のある棟はない



ダグア市場
手前左は市場棟。奥にスーパーマーケット



クリア市場
この市場は屋外店舗が少ない。

写真5



降雨時にはウェワク公設市場は水浸しとなる。



水浸しになった売り場を清掃する売り子達。



ウェワク栈橋が使用できないため、住民は崩壊した栈橋の付近の砂浜をボートの着岸地としたり、係留したりしている。



付近の島々とウェワク町地域を結ぶ交通機関としてこうしたバナナボートを人々は利用している。



既存のウェワク公設市場から排出される生分解性ゴミの状況。



ゴミの廃棄地は既存のウェワク公設市場より約500m離れた場所に位置する。